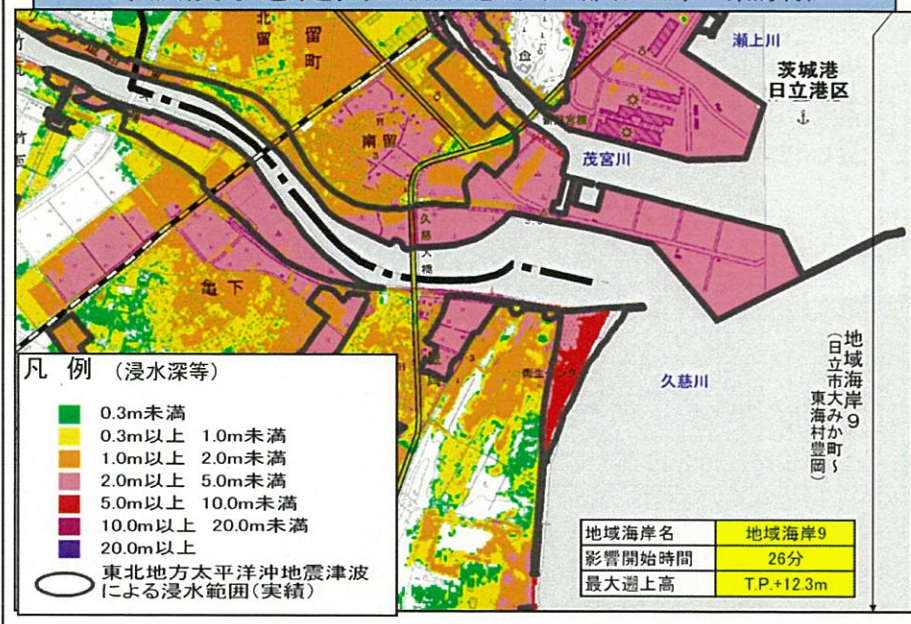


# 津波から県民の命を守るために、新たな津波浸水想定図の作成 — 津波防災地域づくりへの活用 —

津波浸水想定図 (例)久慈川河口部(日立市～東海村)



【課題】 東日本大震災の教訓を生かした津波対策を構築するため、新たな津波浸水想定図の作成が求められていました。

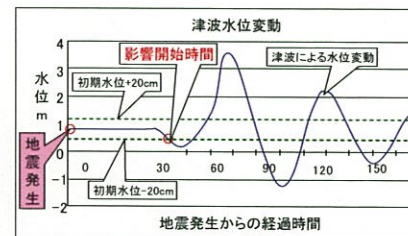
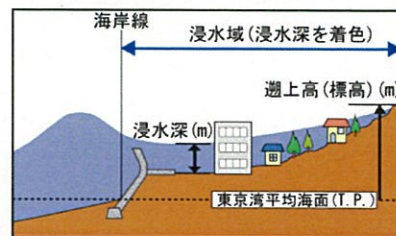
【効果】 新たな津波浸水想定図※は「津波防災地域づくりに関する法律」に基づき、**全国で初めて作成**し、平成24年8月に公表しました。

これにより、津波ハザードマップの見直しや防災訓練の実施など、さまざまな津波対策に活用されることが期待されます。

※千年に一度発生するような**最大クラスの津波**が、**悪条件下で発生**(満潮、堤防の崩壊など)することを想定しています。

## 津波浸水想定の結果

- 浸水面積(県内) : **62.8km<sup>2</sup>** ⇒ 東日本大震災の**3.6倍**
- 遡上高が最も高い地区 ⇒ 北茨城市五浦 (T.P.+**16.0m**)
- 影響開始時間が最も早い地域 ⇒ 神栖市 : **17分**



## 最大クラスの津波を引き起こす地震の設定

対象津波	東北地方太平洋沖地震津波	H23想定津波
規模	マグニチュード(Mw) = 9.0	マグニチュード(Mw) = 8.4
震源域		

● 津波浸水想定は、県のホームページで公表中。

茨城県トップページ ⇒ 「暮らす」 ⇒ 「防災」; 茨城県津波浸水想定図